

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年6月8日
事業者名:	有限会社兼和精機

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	複合機刷新による環境負荷の低減 ペーパーレス化を推進する。		⑬気候変動に具体的な対策を, ⑭海の豊かさを守ろう, ⑮陸の豊かさを守ろう	これまで紙で印刷していたFAX受信文章や社内資料をパソコン上にPDFで保存管理する体制へと移行した。	指標	印刷用紙の使用量
					目標	2028年度までに2024年対比で印刷枚数30%削減することを目指す。
社会	地域人材の積極採用と育成による地域貢献 地元高校との連携を強化し、若手技術者の雇用及び育成に力を入れている。		⑪住み続けられるまちづくりを, ④質の高い教育をみんなに	地元の高校から過去に2名採用し現在も雇用している。勤続年数10年目と7年目であり地域人材を地元に根付かせる雇用モデルを構築している。 また、資格取得支援も行っており、現在2名フォークリフト運転技能講習修了証取得済みである。	指標	外部研修の受講及び資格取得
					目標	毎年1名以上、外部研修の受講もしくは業務に関連する資格を取得する。
経済	生産管理システム導入による経済的貢献 デジタル技術を活用し、工程の見える化及び業務の効率化を推進する。		⑨産業と技術革新の基盤をつくろう, ⑫つくる責任 つかう責任, ⑧働きがいも経済成長も	無駄な作業や待機時間の削減、段取りの効率化など生産性の大幅な向上を実現した。また、在庫の最適化も図ることができ、経済的にも持続可能な運営体制を構築している。	指標	残業時間の削減率
					目標	2028年度までに生産管理システムによって工程の見える化と業務の効率化を図り、残業時間を2024年度対比で20%削減することを目指す
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ ・重点項目について会議の際に周知した。 ・それぞれの取り組みについては営業面、製造面、品質管理面の3視点からのアプローチ方法を社内で議論し達成に向けての工程を確立した。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ホームページ内にてSDGsの取り組みを記載している。 https://kanewa-seiki.com/about/				